

# 歴史・文化・風土に着目した 日本の地域区分図について (中間報告)

2009年 3月30日

東京大学大学院総合文化研究科

松原 宏

[matubara@humgeo.c.u-tokyo.ac.jp](mailto:matubara@humgeo.c.u-tokyo.ac.jp)

## ■本報告の目的

道州制における区割りの透明性のある基準及び基本方針の策定の議論の際に必要な情報・データのうち、特に「歴史・文化・風土の共通性」に関する地域区分図について収集し、取捨選択の上、提示する。

## ■方法

- 1) 日本地誌研究所編『日本地誌』21巻(1967-1980年)、各種の図説、地図帳等の学術文献から、歴史・文化・風土に着目した日本の地域区分図を収集する。
- 2) 収集した地域区分図についてデータベースを作成する。
- 3) 収集した地域区分図(紙ベース)を、電子地図化する。  
その際、地図の重ね合わせができるように、縮尺等を統一する。

# 本報告での日本の地域区分図一覧

## <自然的共通性>

1 地形区分

2 気候区分

## <歴史的一体性>

3 律令国家の行政区画

## <生業>

4 農業地域区分

5 土地利用区分

6 林業地域区分

7 漁業海区区分  
爾)

8 繊維工業地域区分  
光)

## <文化・生活様式の共通性>

10 方言区画

11 陶磁器呼称分布

12 標準語系の分布率

13 雑煮の文化圏

14 すしの文化圏

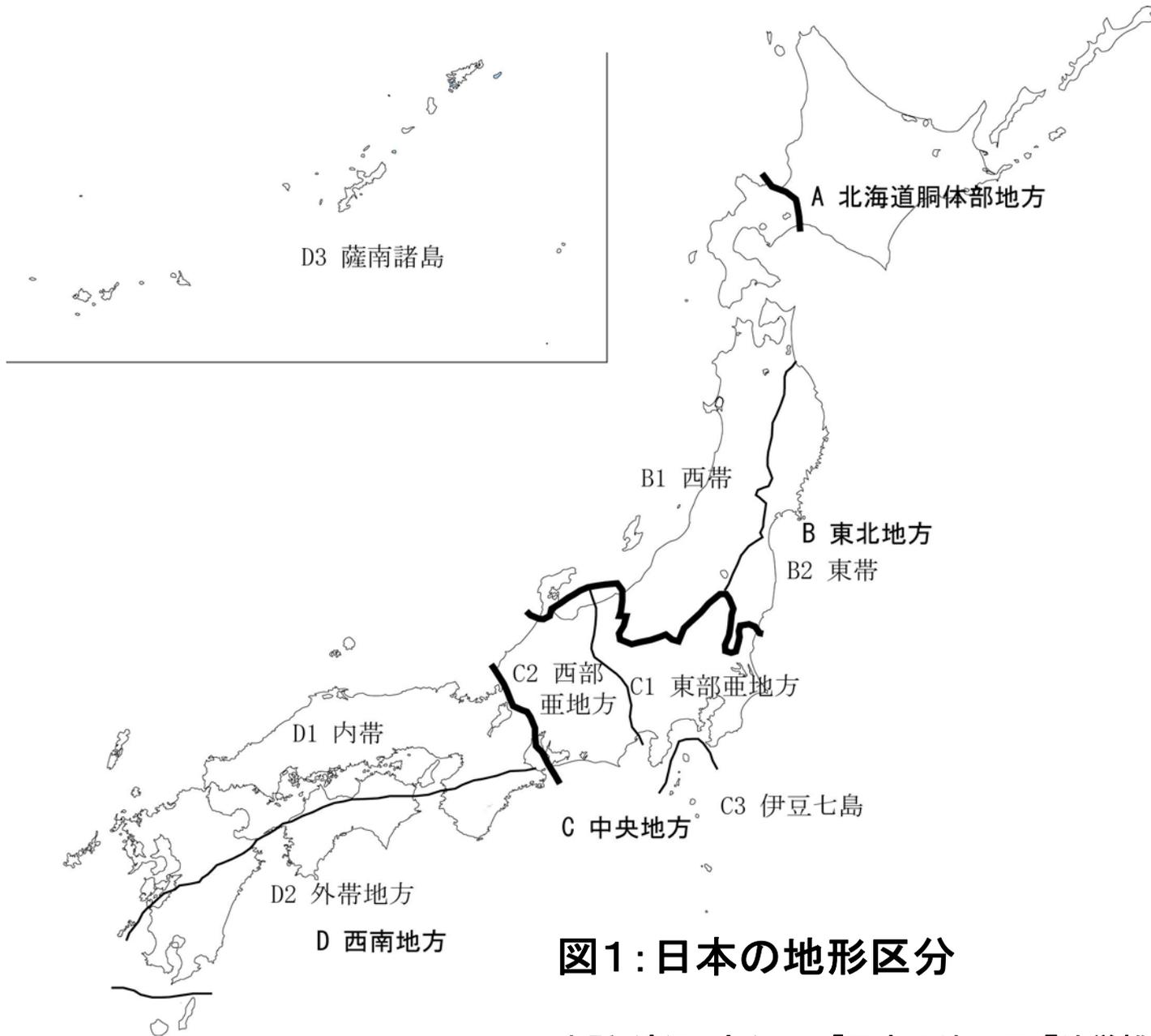
15 めんの地域差

16 よく食べる肉の種類

17 草屋根型の分布

18 日本の地理区(田中啓

19 (渡辺



**図1: 日本の地形区分**

出所: 渡辺 光(1952)「日本の地形区」『地学雑誌』61(1)。



図2: 日本の気候区分

出所: 関口 武(1959)「日本の気候区分」『東京教育大学地理学研究報告』Ⅲ。



**図3: 律令国家の行政区画(8世紀ごろの畿内と七道)**

出所: 西岡虎之助ほか監修(1956)『日本歴史地図 1956』などによる。



図4:日本の農業地域区分  
 (耕作量・換金作物の組み合わせによる)

出所:尾留川正平(1950)「新基準による日本農業地域区分の体系」(『田中啓爾先生記念大塚地理学論文集』)。

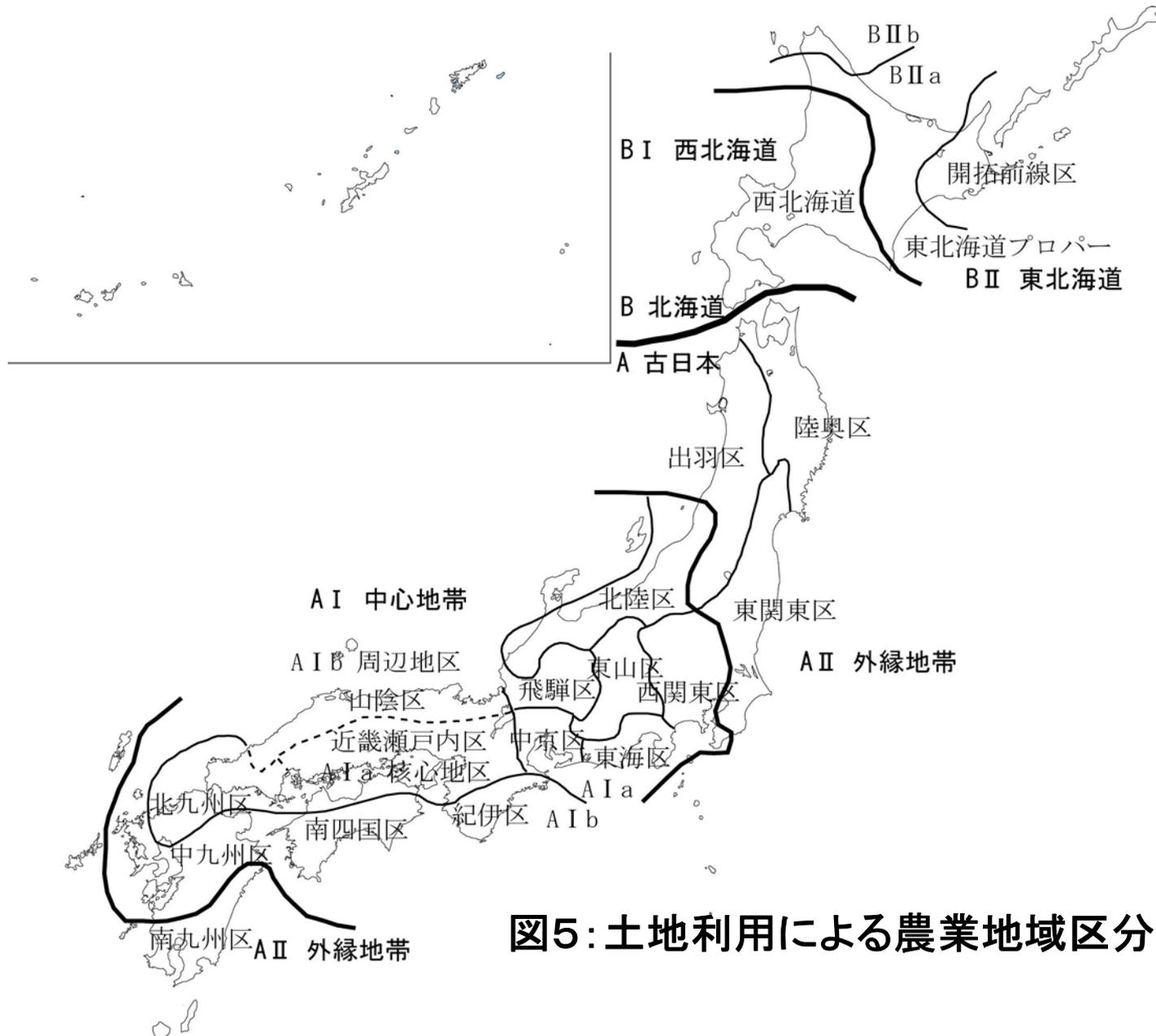


図5: 土地利用による農業地域区分

出所: 小笠原義勝(1955)「土地利用の区分」(地理調査所地図部編『日本の土地利用』古今書院)。



図6: 林業からみた日本の地域区分

出所: 農林水産技術会議資料による。



**図7: 漁業海区の区分図**

出所: 柿本典昭(1975)『漁村の地域的研究』大明堂,p.72.

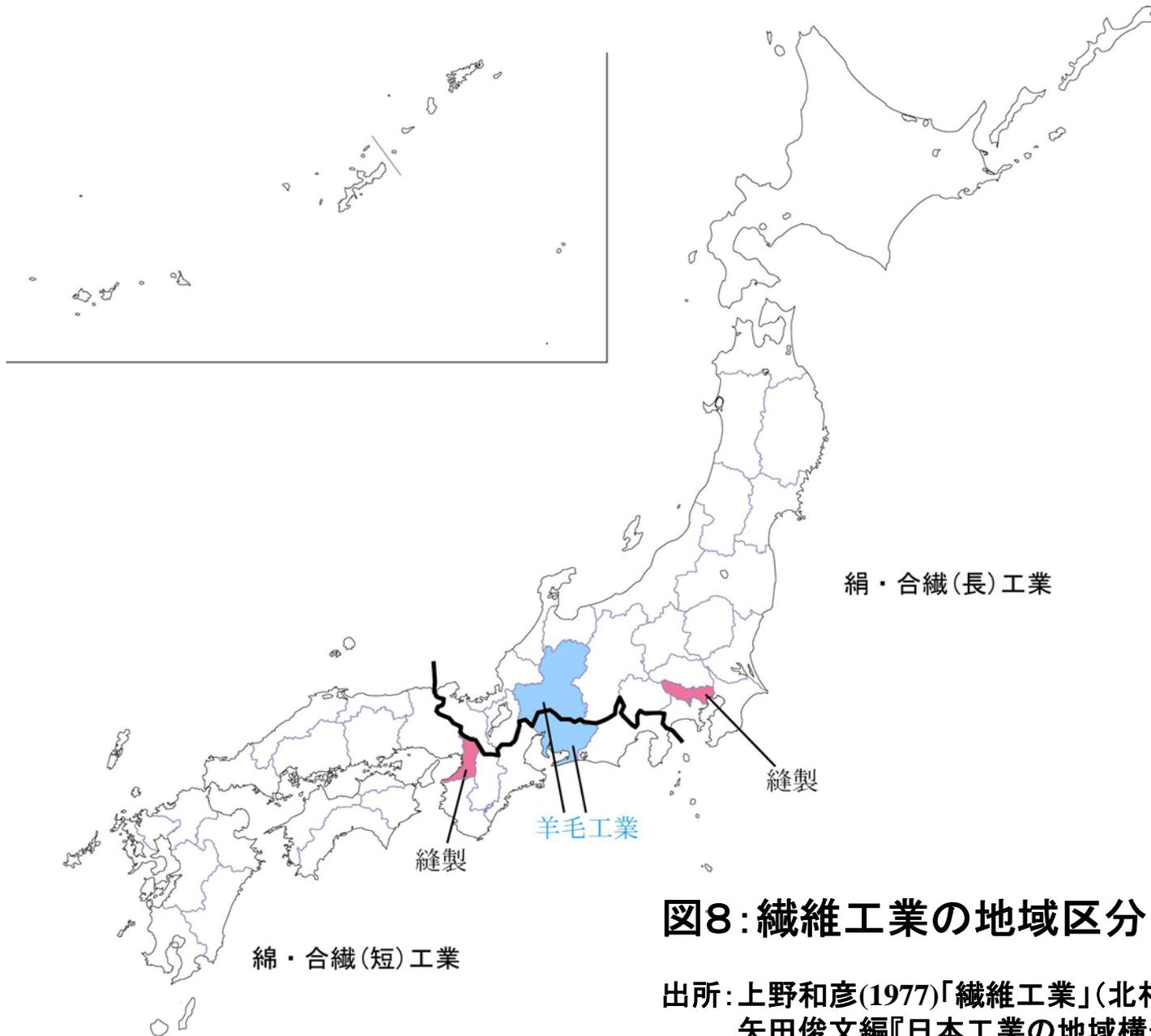


図8: 繊維工業の地域区分

出所: 上野和彦(1977)「繊維工業」(北村嘉行・矢田俊文編『日本工業の地域構造』)p.207.

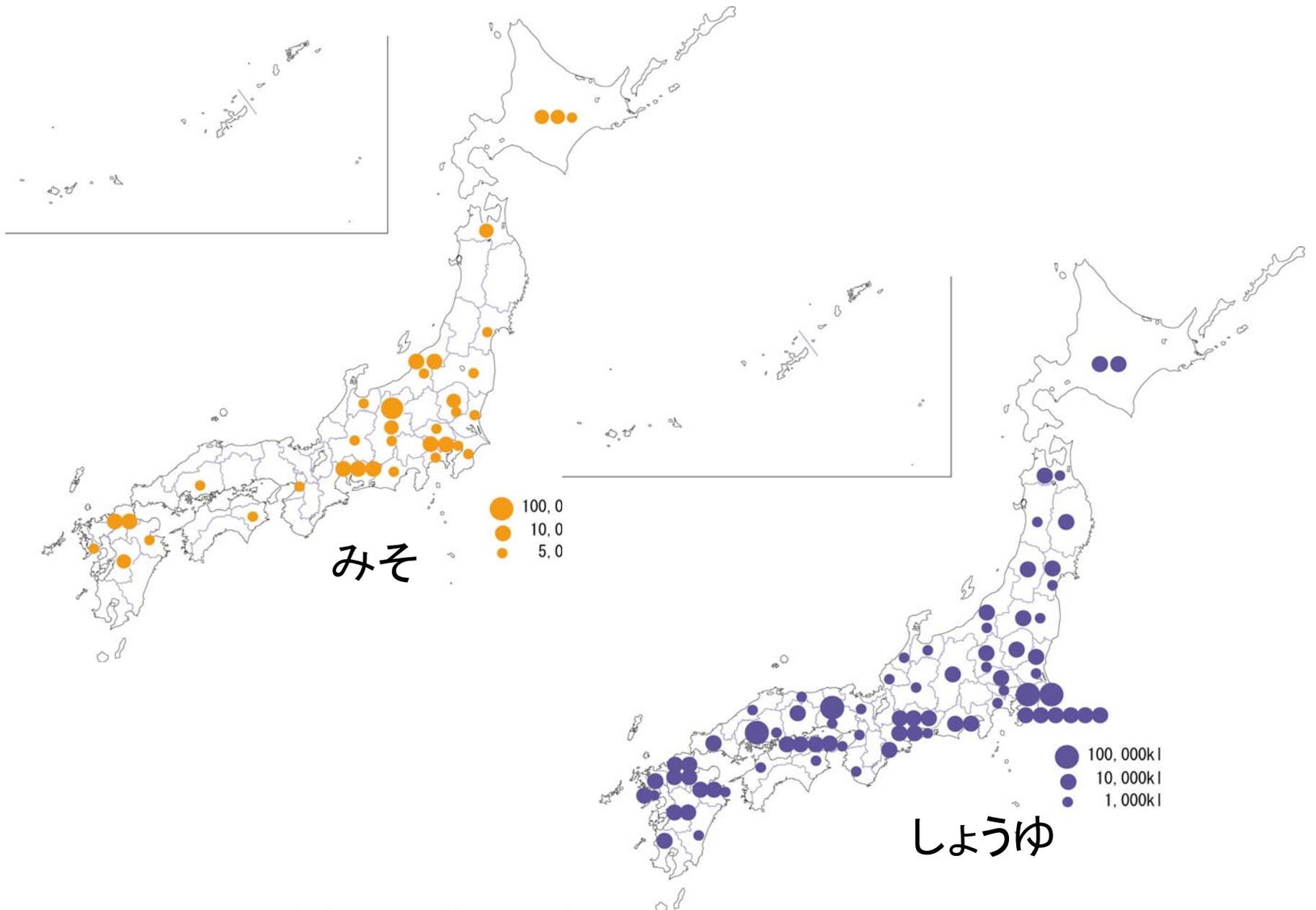
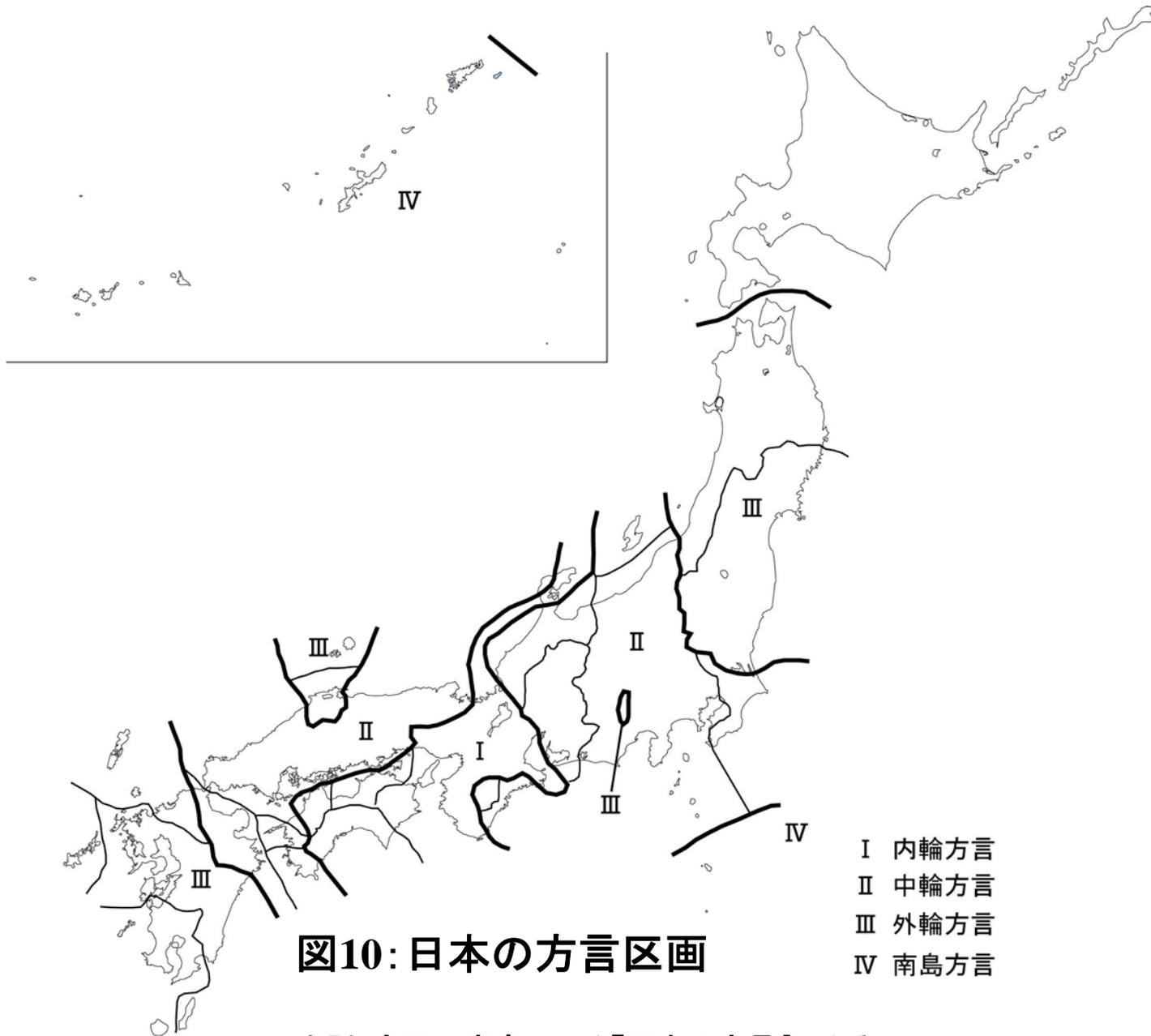


図9: 食料品工業の分布(1961年)

出所: 日本教図(株)編集部編(1964)『日本地理図集』p.192.



**図10: 日本の方言区画**

- I 内輪方言
- II 中輪方言
- III 外輪方言
- IV 南島方言

出所: 金田一春彦(1975)『日本の方言』による。

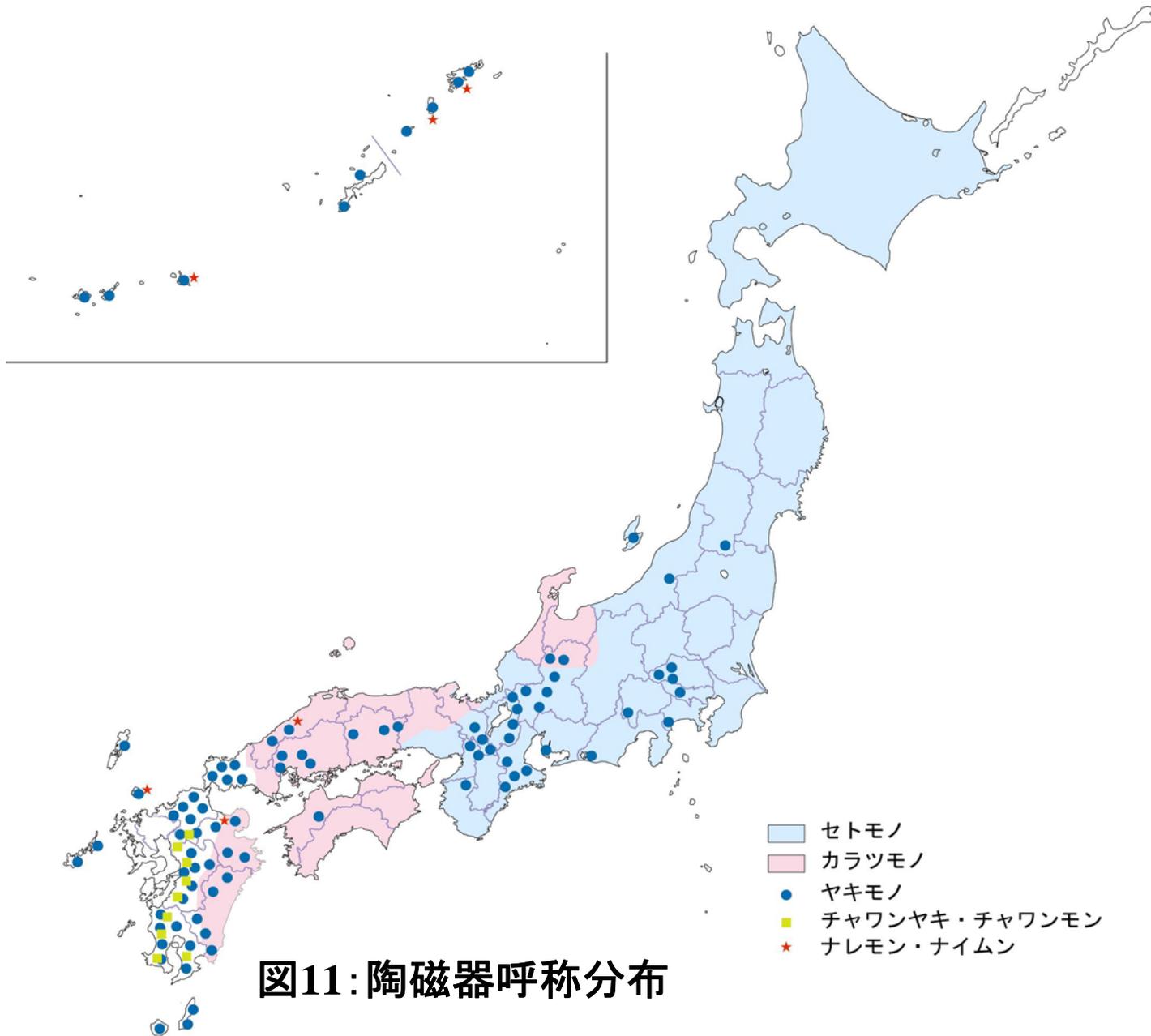


図11: 陶磁器呼称分布

出所: 国立国語研究所『日本語地図』による。

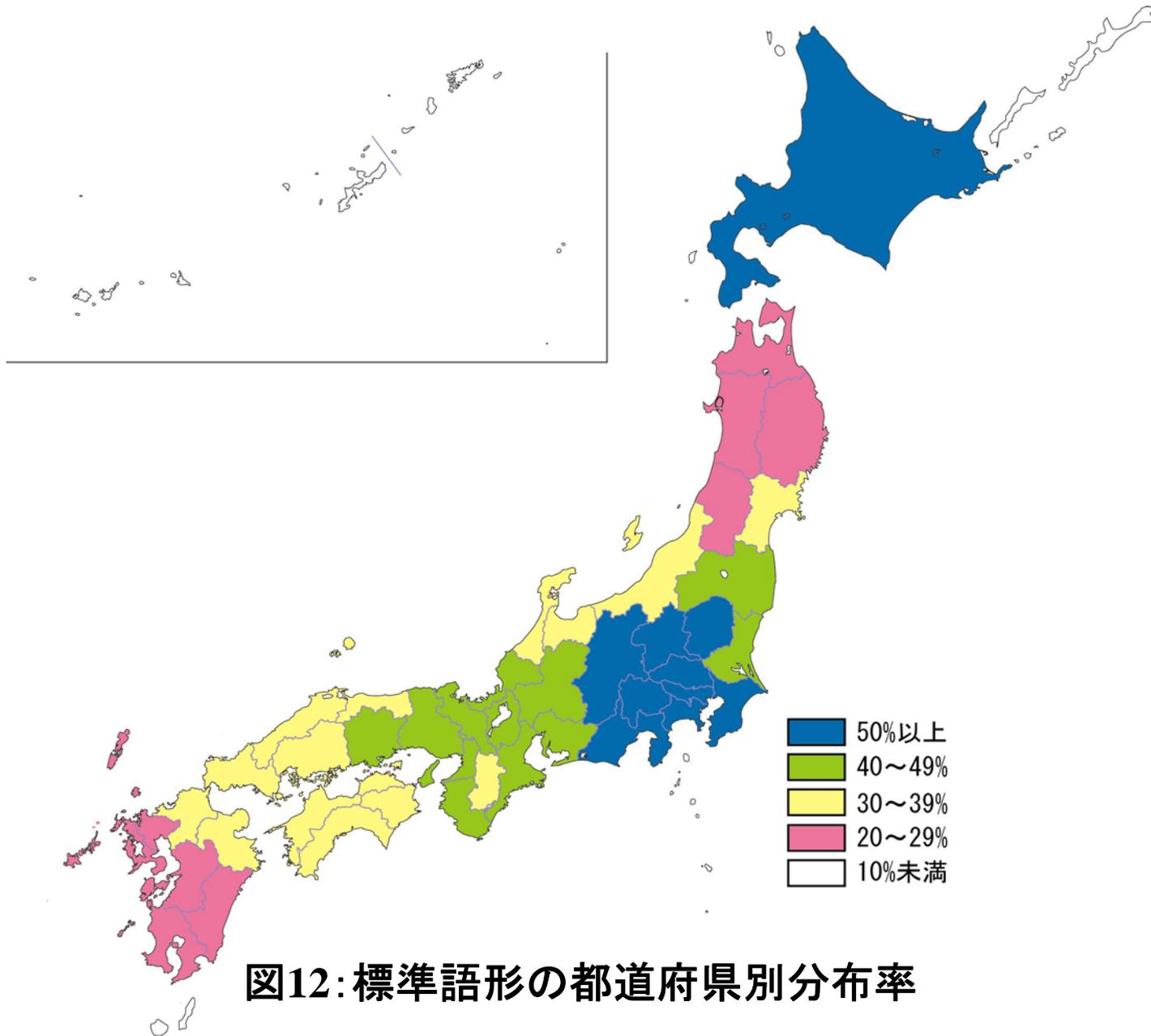


図12: 標準語形の都道府県別分布率

出所: 河西秀早子(1981)「標準語形の全国的分布」『言語生活』17:27-35.

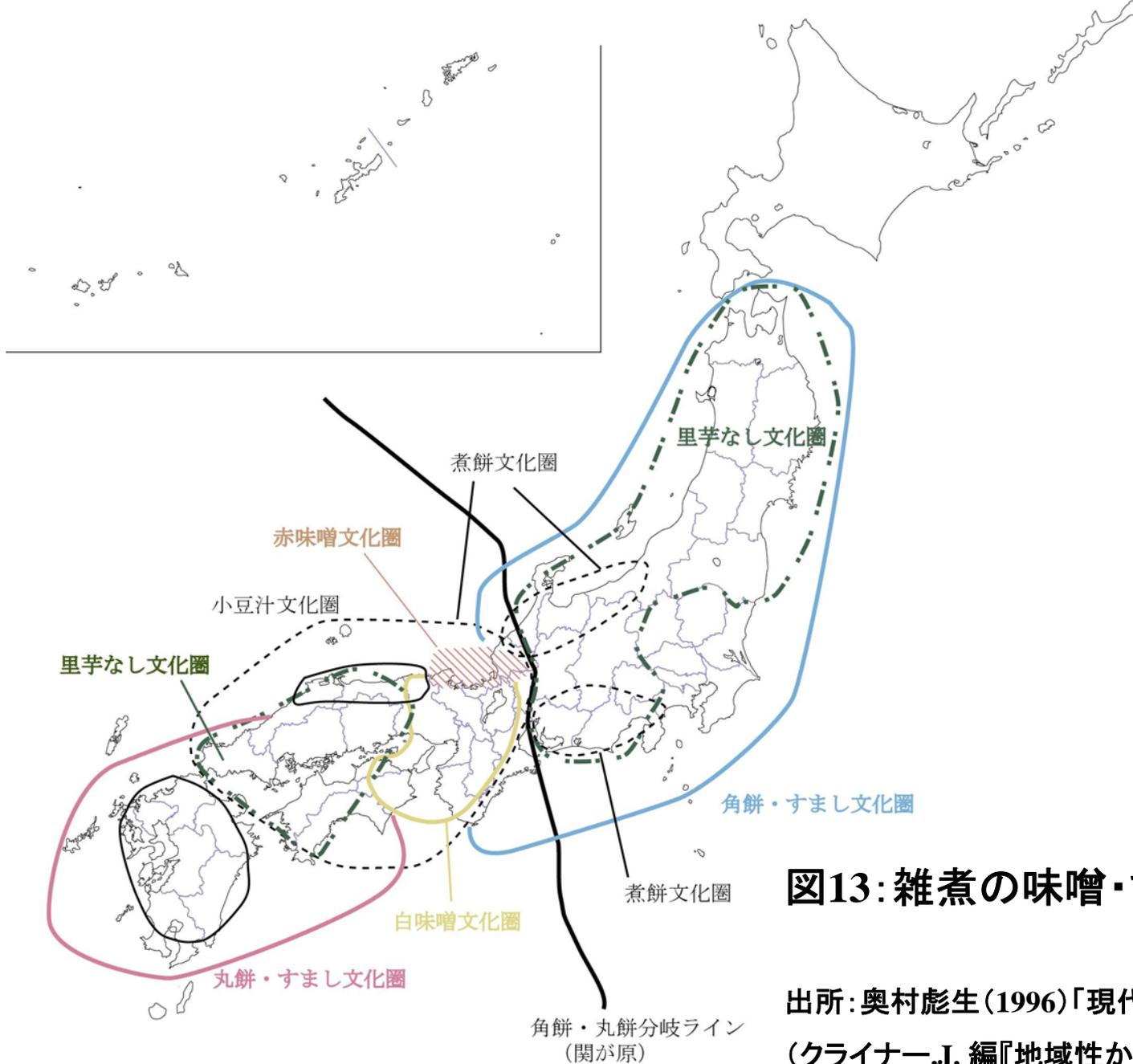
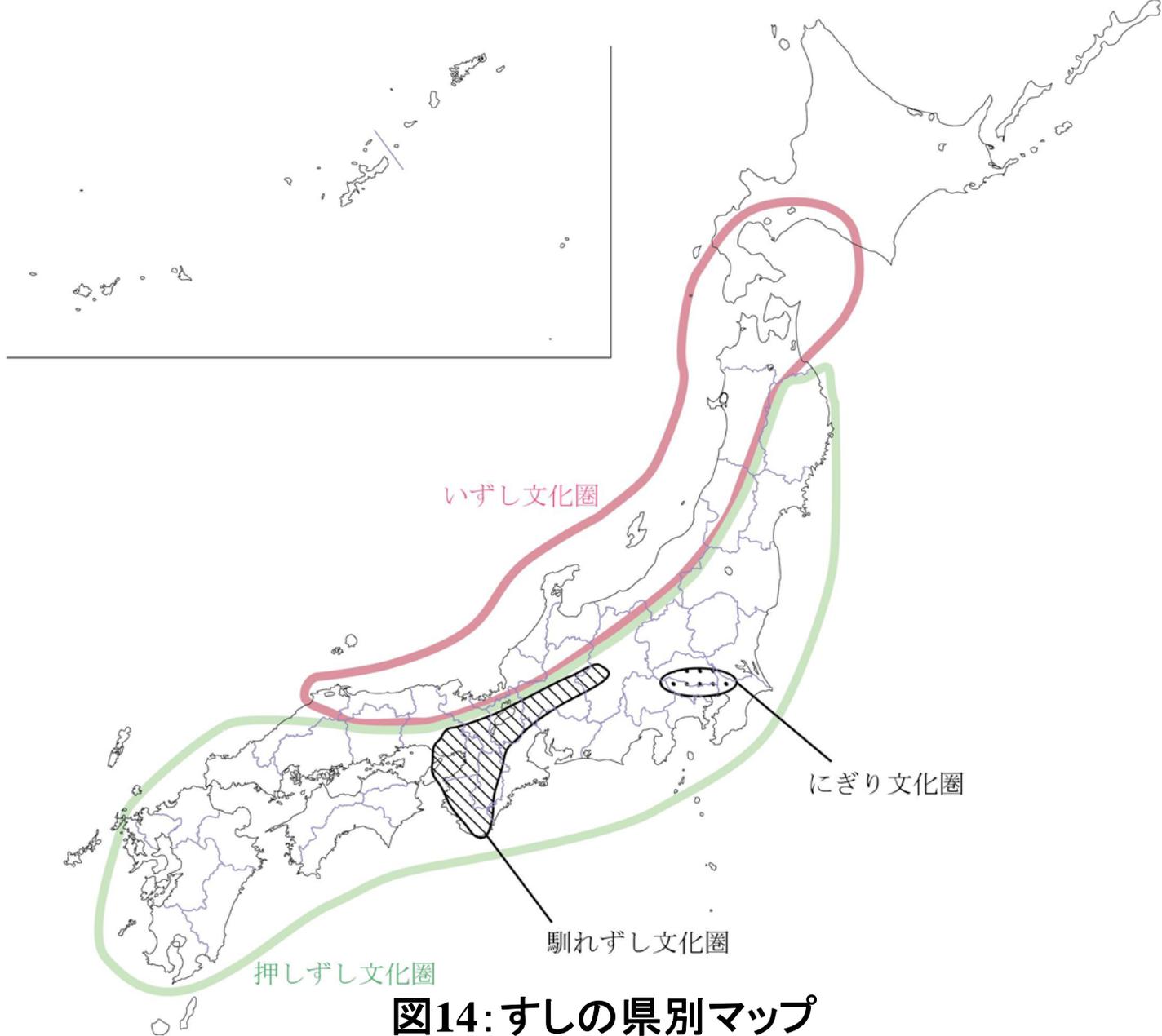


図13: 雑煮の味噌・すまし文化圏

出所: 奥村彪生(1996)「現代における郷土色料理」  
 (クライナー, J. 編『地域性からみた日本』新曜社) p. 196~197.



**図14: すしの県別マップ**

出所: 奥村彪生 (1996) 「現代における郷土色料理」  
 (クライナー, J. 編『地域性からみた日本』新曜社) p. 198~199.

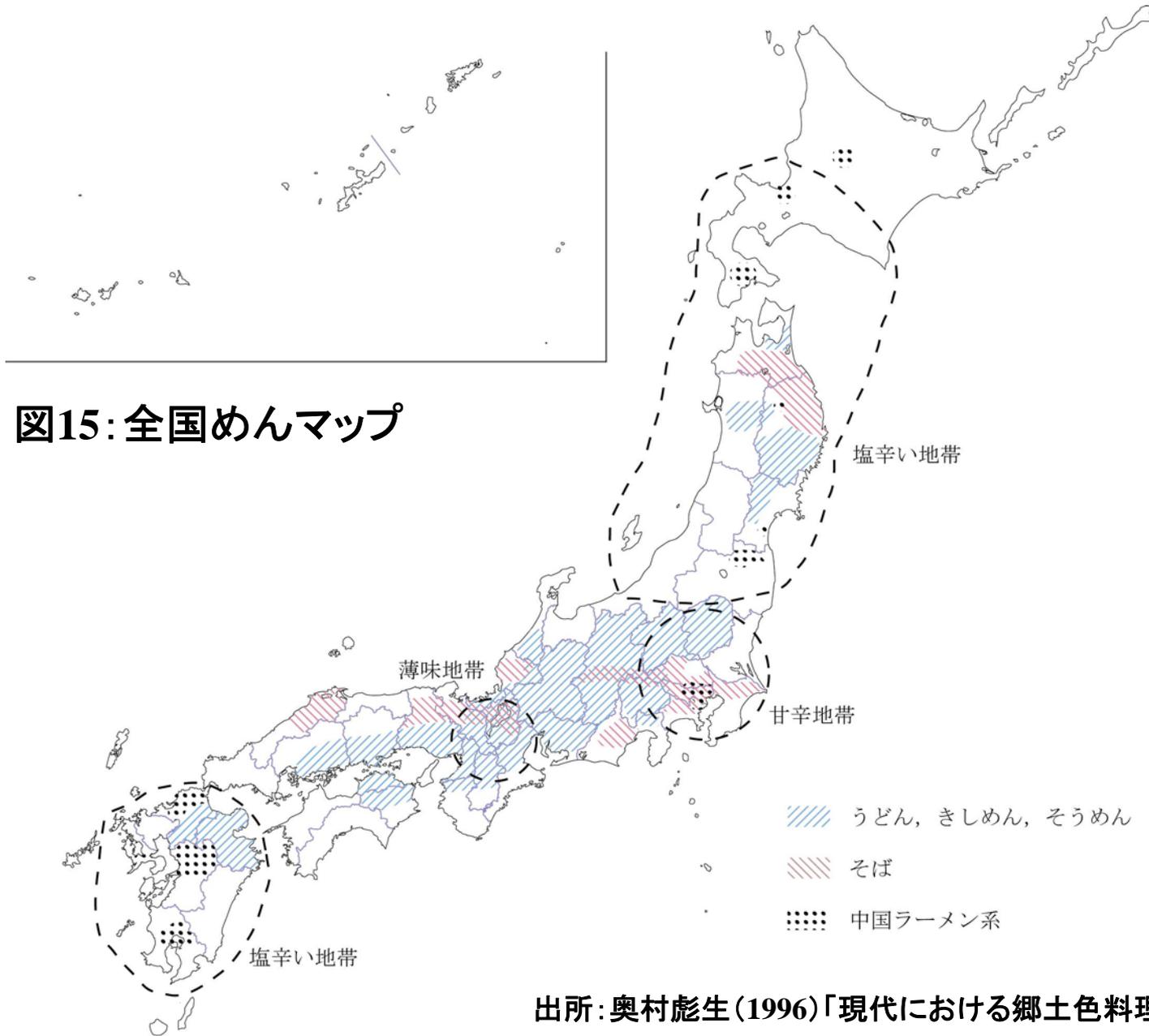


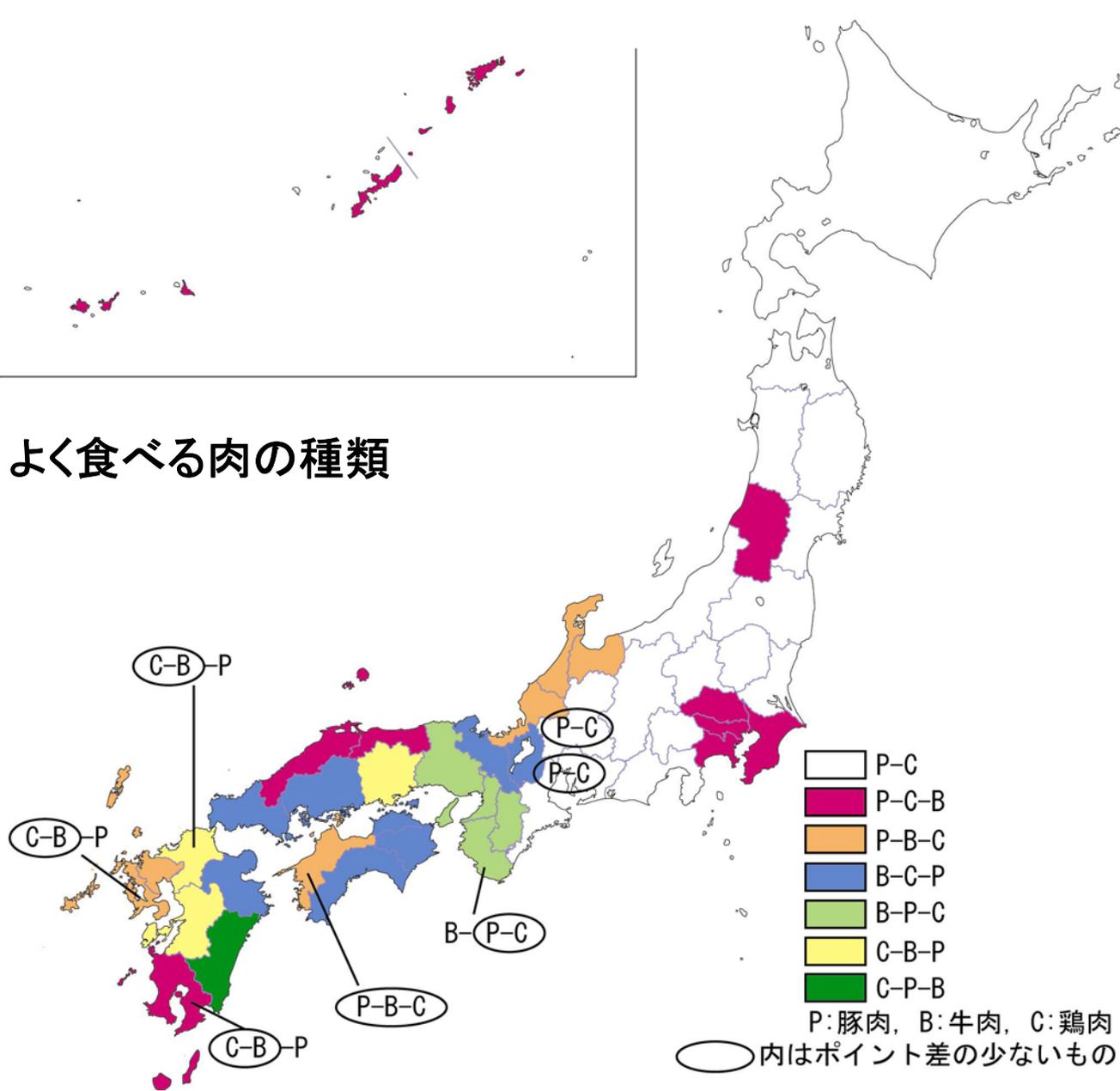
図15: 全国めんマップ

出所: 奥村彪生(1996)「現代における郷土色料理」

(クライナー, J. 編『地域性からみた日本』新曜社) p. 204~205.



図16:よく食べる肉の種類



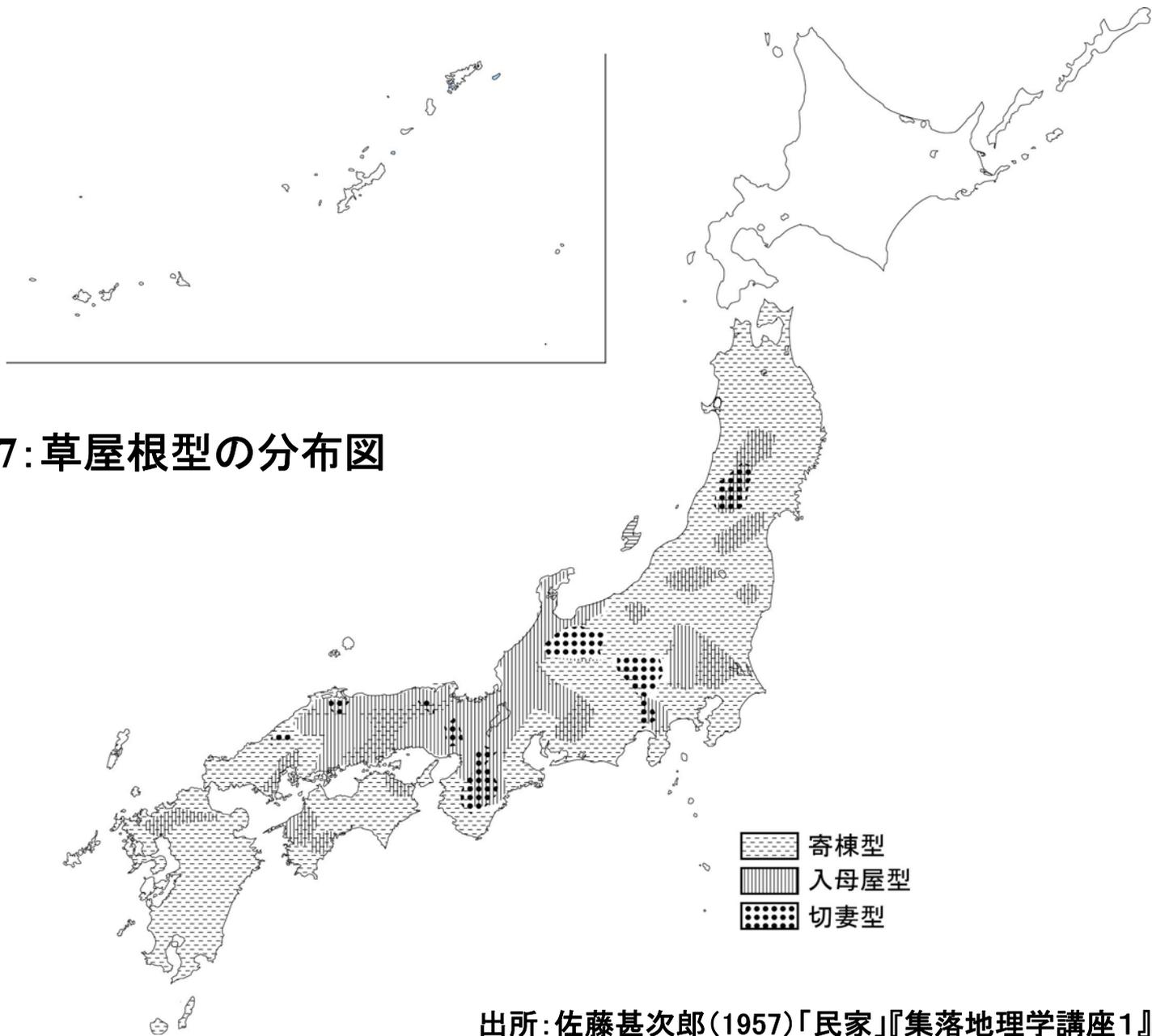


図17: 草屋根型の分布図

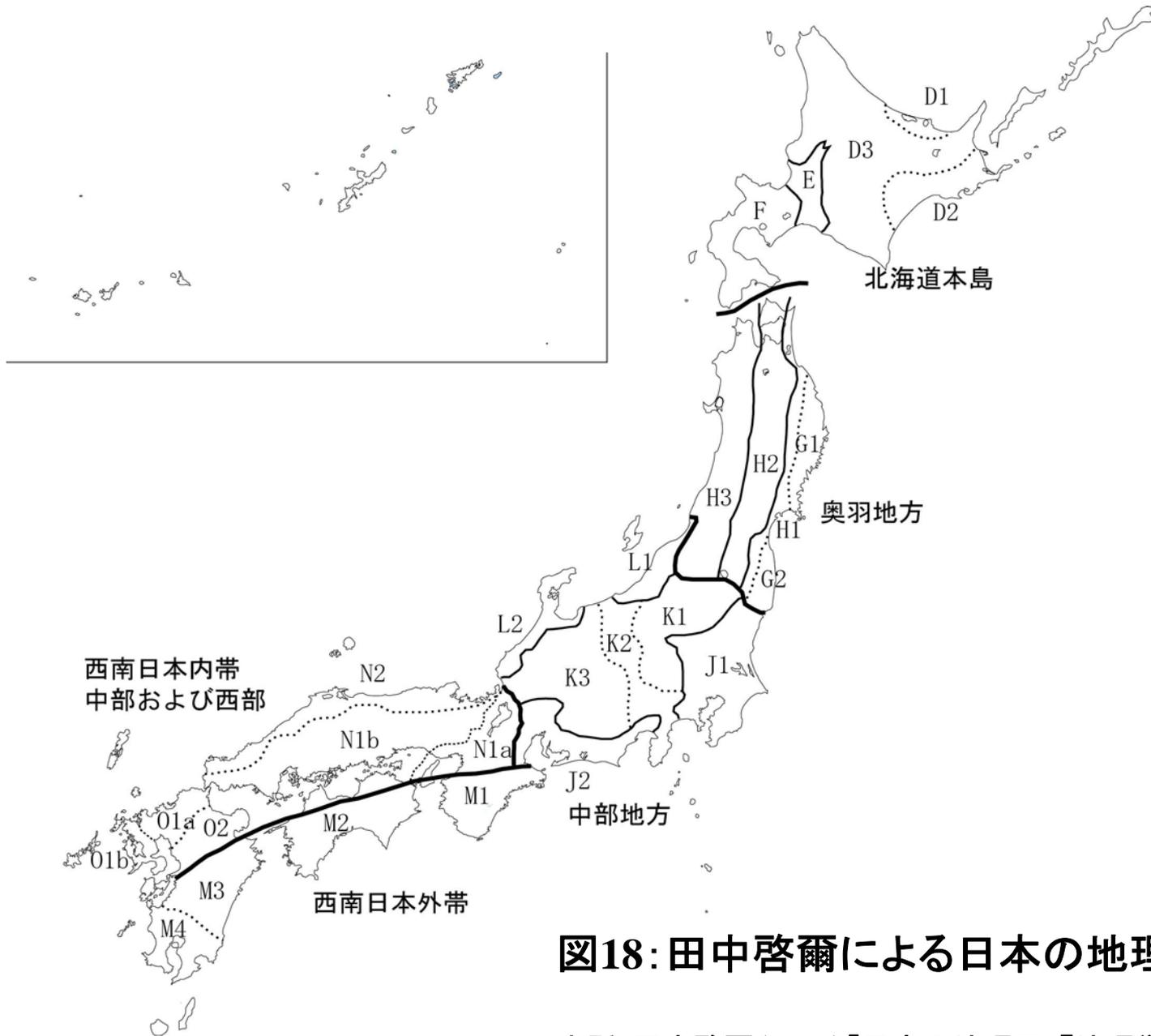


図18: 田中啓爾による日本の地理区

出所: 田中啓爾(1927)「日本の地理区」『地理学評論』3-1.



図19: 日本の大地域区分(暫定的)

出所: 渡辺 光(1970) *Ochanomizu Univ. Studies in Arts and Culture*, Vol.23.

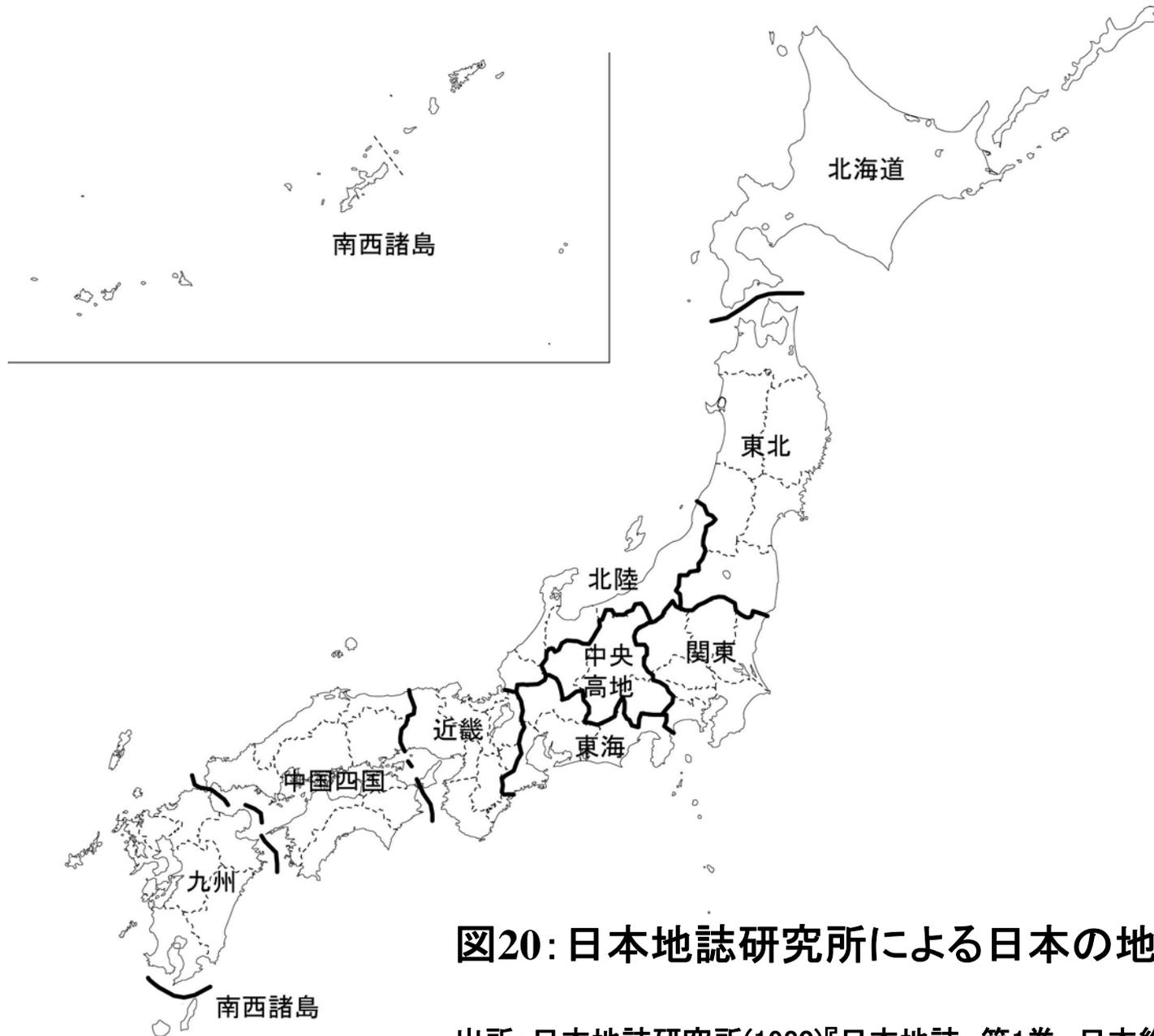


図20: 日本地誌研究所による日本の地理区

出所: 日本地誌研究所(1980)『日本地誌 第1巻 日本総論』p.307.

## ■ 今後の課題

- 1) 対象文献の範囲を拡げ、日本の地域区分図の収集、データベース化、電子地図化の充実に努める。
- 2) 生活・経済交流(広域経済圏)、住民の帰属意識等まで、地域区分図の収集範囲を拡げる。
- 3) 既存文献によらず、原データの加工により、オリジナルな地域区分図を作成する。
- 4) 地域区分図の重ね合わせを行うとともに、統計的処理を行い、日本の地域区分図の整理・統合を行う。
- 5) 地域区分の根拠についての考察を総合し、日本の地域区分に関する説明論理を深める。